

# 地方創生先行型交付金事業検証用シート

交付金事業名	6次産業化促進事業
事業名	⑤ 6次産業化促進支援事業
担当課	とわだ産品販売戦略課

## 事業概要

<p>6次産業化認定者や6次産業化に意欲的な事業者に対し、取組段階に応じた支援を実施した。</p> <p>○6次産業化推進体制構築事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナーの開催 全5回 受講者数 10事業者/回</li> <li>・認定に向けた実践サポート サポート事業者数 2事業者</li> <li>・「6次産業化推進シンポジウム」開催130人</li> </ul> <p>○6次産業化促進支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハード助成活用事業者数 1事業者</li> <li>・ソフト助成活用事業者数 1事業者</li> </ul>
---

## KPI（重要業績評価指標）の進捗状況

KPI (重要業績評価指標)	平成27年度 目標値	平成27年度 実績値	平成27年度の 進捗状況
総合化事業計画支援件数	2件	2件	達成
総合化事業計画認定件数	1件	1件	

## 総合戦略上の位置づけ

基本目標	具体的な施策・事業		
1 地域における安定した雇用を創出する	1-1-1 農畜産物など高品質なとわだ産品の「ブランド力」の更なる向上  ・地域内連携による6次産業化支援事業		
	総合戦略上のKPI (重要業績評価指標)	現状値 (平成26年度)	目標値 (平成31年度)
	「六次産業化・地産地消費」に基づく総合化事業計画認定事業者数	3件	8件

## 先行型交付金事業の進捗の分析・今後の展望

<p>【平成27年度 達成率】100%</p> <p>【方向性】引き続き、6次産業化の認定に向けた事業者への支援を行う。</p> <p>●市内事業者の情報・状況を把握し、6次産業化に取り組む事業者の掘り起しを行う。また、市内に加工施設の拠点づくりを行い、地域内で連携した6次産業化の促進を図る。</p>
---

## 6次産業化の促進

### 1. 経緯

○市は、6次産業化を地域に定着させて、生産量の増、農業所得の向上、雇用の創出等から、地域経済に貢献できる農業を推進するため、「6次産業化促進支援事業」を、平成25年度から特別枠予算により、(株)パワフルジャパン十和田に業務委託して実施している。

○認定事業者数の推移

認定事業者件数	全国	東北	青森県	十和田市
平成25年10月31日現在	1,681	295	52	1
平成26年10月31日現在	1,976	312	65	3
平成27年11月10日現在	2,121	332	65	3

### 2. 実績

(平成25年度)

○予算額 11,640千円 (委託費7,640千円 補助金4,000千円)

○決算額 9,803千円 (委託費7,640千円 補助金2,163千円)

○啓発活動

- ・ポテンシャル調査 4事業者 (日々木、(株)おいらせ大地、(株)グリーンソウル、(有)みのる養豚)
- ・生産者、加工事業者、販売事業者等を対象にグループワークを開催  
(農閑期である1～2月に若手農業者及び産直の生産者対象で実施)
- ・6次産業化の方策等の勉強会 1セット全5回×2セット 1回の参加者15～20人

○育成活動

- ・モデル事業計画・立案 2カ所 (烏骨鶏、養豚からの6次産業化への取組み)
- ・補助事業 (チャレンジ助成)  
決算額2,163千円 (ハード助成:2,000千円、ソフト助成:163千円)

○認定に向けた実践サポート 25回 (随時実施中)

○6次産業化推進セミナー開催 H26.3月開催 (参加者100名)

○6次産業化法に基づく総合化事業計画の認定 H26.5.30付で2事業者が認定事業者となる。

・(株)おいらせ大地 ・(特非) 農楽郷 hibiki



(ポテンシャル調査)



(勉強会)



(グループワーク)



(ハード整備)

(平成26年度)

○予算額 10,950千円 (委託費6,950千円 補助金4,000千円)

○決算額 9,407千円 (委託費6,950千円 補助金2,457千円)

○6次産業化認定に向けた実践サポート

- ・総合化事業計画作成指導：十和田乗馬倶楽部（羊の肉加工・販売、食、観光体験等）
- ・認定事業者へのサポート：地域ネットワーク活動交付金要望に係るサポート（県へ提出）

○認定事業者となるための育成活動

- ・セミナーの実施：前期5回（受講者55事業者）、後期3回（受講者28事業者）※平均10事業者/回
- ・取組みモデル規格・立案作成
- ・チャレンジ助成（補助金）：ハード1件（農楽郷 hibiki）、ソフト2件（おいらせ大地、農楽郷 hibiki）

○全体活動

- ・「6次産業化推進シンポジウム」開催

H26.11.10（月） 参集者92名

基調講演、パネルディスカッション、加工品PRコーナー、取組み・ファンド相談コーナー



(シンポジウム開催記事)



(認定証交付式)

(平成27年度)

○予算額 9,900千円(委託費5,400千円 補助金4,500千円)

○決算額 9,875千円(委託費5,400千円 補助金4,475千円)

○6次産業化認定に向けた実践サポート

- ・総合化事業計画作成指導:(株)漆畑ファーム(牧草・畜産・精肉の加工・販売等)
- ・認定事業者へのサポート:商談会への出展(東京都「食のショールーム・パルズへ(株)おいらせ大地・農楽郷 hibiki)

○認定事業者となるための育成活動

- ・セミナーの実施:計5回※平均10事業者/回
- ・取組みモデル規格・立案作成
- ・チャレンジ助成(補助金):ハード1件((株)漆畑ファーム)、ソフト1件(農楽郷 hibiki)

○認定事業者の目標達成率(下表参照)は、中長期的なスパンで検証。

事業者名	売上高(千円)		達成率	計画期間
	目標	実績		
農事組合法人 赤沼宮農組合(H24.2.29 認定)	4,470	2,670	60%	H26.12 まで
(特非) 農楽郷 hibiki (H26.5.30 認定)	980	36	4%	H29.3 まで
(株)おいらせ大地 (H26.5.30 認定)	37,200	21,893	59%	H28.12 まで
漆畑畜産(H28.4.28 認定)	13,554			H32.12 まで

### 3. 見えてきた新たな課題

○商品開発に伴い、レトルト加工、加熱充填等が市内にない。

→弘前市内事業者等に委託。

→市内にお金が落ちない。

○セミナーを通して、意識が高まりつつあることから地域内連携による6次産業化への取組のトータルマネジメントが必要。

○国の支援内容が厳しい状況となっているため、認定事業者が事業を促進させる支援体制が必要。

○補助や融資に関する事業計立案・作成力が低い。

○販路開拓

→積極的な事業者は、販路拡大に繋がっている。

#### 4. 課題を解決するための対策

- 経営力指導支援
- ハード・ソフト整備に係る支援
- 地域内連携による6次産業化の必要性
- 廃校・廃施設の有効活用による6次産業化の取組推進
- 海外輸出を視野に入れた販路開拓

#### 5. 平成28年度事業の内容

平成25年度からの事業内容における課題を解決して、6次産業化の促進を図る。  
イメージは、別添のとおり。

【H28年度までの事業認定者数目標値】5件

(H24年度：1件、H25年度：0件、H26年度：2件、H27年度：0件、H28年度：2件)

※現状値 H26年度：3件（農事組合法人 赤沼営農組合、(特非)農楽郷 hibiki、(株)おいらせ大地)

# 平成28年度十和田市6次産業化促進支援事業

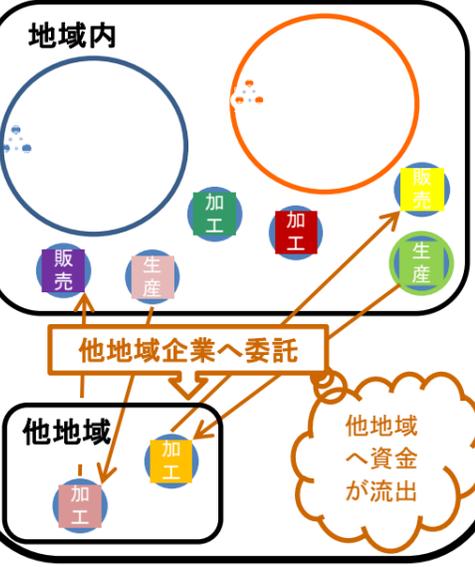
総事業費 18,250千円(委託費8,250千円、補助金10,000千円)

## 現状

◇6次産業化法総合化事業計画

- 認定事業者
- 農事組合法人 赤沼営農組合
- (株)おいらせ大地
- (特非)農楽郷hibiki

◇認定を目指す事業者見込み



## 課題

- 最終商品化に必要な機械が市内にない。  
→他地域に委託製造  
→製造コストが市外に流出  
→商品化のスピードダウン
- 高価な加工機械の導入が困難。
- 高性能な機械の操作技術を有する人材がいない。
- 市内における加工のマネジメントが必要。

解決策

事業者が共同利用できる施設の整備、加工技術に係る人材育成

廃校・廃施設等を活用し、レトルト製造機械など地域にない加工品製造機械をはじめ、1・2次加工製品を製造できる拠点づくりを行う農業法人や事業協同体に対する支援。

**平成28年度十和田市6次産業化促進支援事業費補助 10,000千円**

※市のモデル事業として推進  
15,000千円×2/3=10,000千円  
※人件費3,000千円+設備導入12,000千円

市支援

**平成28年度十和田市6次産業化促進支援事業委託 8,250千円**

## 生産者

生産量の増→所得の向上  
生産意欲の向上→品質向上

6次産業化への取組

## 地域内連携

### 加工品づくりの拠点

※自社製品のみならず市内事業者の加工への取組みを活発化。他地域からの受託製造も可能に。

### 補助事業活用事業者

## 加工業者

特産品開発の加速化  
品質向上、コストダウン

## 販売者

商品の質向上  
販売額の増

加工への取組み  
(生産者から生産・加工業者へ)

新しい加工品開発への取組み  
(加工業者間のつながり)

海外への輸出も見据えた販路の確保・拡大  
EC活用による販売力強化

道の駅・ASTなどで販売

地域産業の振興

雇用の増

地域経済の活性化

### 6次産業化への取組み促進

- セミナー実施 150千円×3回=450千円
- モデル事業企画・立案 250千円×2箇所=500千円

### 6次産業化総合化事業計画認定に向けた実践サポート

- 個別指導 100千円×2事業者×5回=1,000千円
- 海外販路開拓マーケティング調査事業 3,150千円
- 市内における加工需要及び保有機械調査 300千円
- 事業連携による加工事業モデルプランニング 500千円
- 加工機械技術指導 1,950千円
- 全体活動